

2019年度 自己評価結果報告

1. 教育・保育理念

子ども一人ひとりを大切にし、豊かな人間性を育てるために地域、こども園、保護者が一体となり、家庭的な園を目指す。

のびのびと明るく、元気に成長できるような環境づくりをする。

2. 保育目標

- ・ 基本的生活習慣を身につける子
- ・ 何事にも意欲を持ち懸命に取り組める子
- ・ 丈夫でたくましく思いやりのある子

評価・結果

- ・ 恵まれた大自然の中でのびのび保育に取り組む中で、園内外の探索を通して子ども達にどのような力が育つのか、その力を引き出すために保育者はどのような働きかけが必要か、ねらい・計画を立てて行う。

◎評価項目の達成及び取り組み状況

- ・ 実施方法は、各項目において、A大変良い B良い C一部検討を要する D改善を要するとした。
- ・ 一番回答の多かったものを、集計結果にし、公開する。

評価項目	集計結果・総合評価
教育・保育 の理解	B 今後も、幼保連携型認定こども園ということを踏まえ、0歳から小学校就学迄の幼児の成長を見据え、職員間で共通理解を図っていく。 子どもの心身の成長発達にとって、極めて重要な時期の保育・教育に携わっていることを職員は再認識し、資質・専門性の向上に努めていきたい。指導計画（年・月・週）の記録を見直し、一人ひとりに応じた援助を心掛ける。
指導計画	B 子どもの心身の成長発達にとって、極めて重要な時期の保育・教育に携わっているということを十分に認識し、結果を踏まえ、今後も資質・専門性の向上に努めていきたい。 保護者の関わる行事については、保護者アンケートで聞き取り調査を行い、できる範囲での改善に取り組む。年齢や興味に応じたねらいを達成するため、計画的に全職員が責任をもって取り組んでいる。
行事	
保健	B 感染症については、各家庭へメール配信などを活用し、知らせる。
施設・設備	B 日々の清掃時等に点検し、安全で衛生的な環境を整える。必要に応じ、業者の安全点検を実施していく。施設整備については日々の清掃時に点検し、安全な環境を整えている。定期的に専門業者による点検を行い、危険個所の早急な対応に努めていきたい。
開かれた 園づくり	B 保護者の参観を行い、園の様子を見てもらう。保護者対象の講演会やリフレッシュ講座の開催も行っている。 小学校と園児の交流会を行い、意見交換するとともに、就学時には指導要録を作成、引継ぎを行いスムーズな移行ができるようにしている。
情報発信	B 園だよりやホームページを通して、園の情報発信をしていく。